

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 トーカロ株式会社
 コード番号 3433 URL <http://www.tocalo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 町垣 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 太田 義人
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 078-411-5561(代)

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第3四半期	17,925	—	2,734	—	2,792	—	1,592	—
20年3月期第3四半期	18,495	△4.7	3,807	△29.8	3,845	△29.4	2,300	△27.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	102.82	—
20年3月期第3四半期	145.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
21年3月期第3四半期	28,053	17,657	62.9	1,159.85
20年3月期	26,383	17,198	65.2	1,103.21

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 17,657百万円 20年3月期 17,198百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
21年3月期	—	22.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	23,000	△5.6	2,980	△36.4	3,000	△37.1	1,688	△40.5	109.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	15,800,000株	20年3月期	15,800,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	575,719株	20年3月期	210,422株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	15,490,016株	20年3月期第3四半期	15,799,411株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項につきましては、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(その他特記事項)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで、以下「当第3四半期」という。)の世界経済は、米国発の金融危機が実体経済に大きく影響を及ぼし、昨年秋以降、景気の状態が深刻化いたしました。日本経済も内外の需要が落ち込むなか、景気後退色を強めてまいりました。その中であって、当社の主要部門である半導体製造装置業界では、業績が低迷する内外の半導体メーカーが設備投資を昨年に引き続き一段と抑制し、その他産業界も急速な需要の落ち込みを受け、減産の強化と設備投資の抑制に転じており、総じて需要が減退しております。

このような状況のもと、当第3四半期における当社グループの連結業績は、売上高179億25百万円、経常利益27億92百万円、四半期純利益15億92百万円となりました。

溶射加工部門では、産業機械分野の売上が堅調に推移したものの、半導体・液晶はじめその他分野の減少により、当部門の売上高は149億80百万円となりました。溶射加工以外の周辺加工部門は、TD処理加工、ZACコーティング加工が減少し、堅調に推移してきたPVD処理加工も昨年秋以降、自動車関連業界の需要落ち込みの影響を受けており、周辺加工部門全体の売上高は29億44百万円となりました。

また、収益面につきましては、半導体関連を中心とした溶射加工の売上減少と、これまでの高水準の設備投資や平成20年度税制改正を契機とした有形固定資産の耐用年数見直し(機械装置の減価償却期間の短縮)による減価償却費の負担増などにより、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに大きく落ち込んでおります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は280億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億70百万円増加いたしました。一方、負債は103億96百万円と前連結会計年度末比12億10百万円増加いたしました。前連結会計年度末比で流動資産は20億18百万円、流動負債は13億1百万円それぞれ増加しておりますが、主な要因は、当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日のため、仕入債務等の支払決済が翌月にずれ込んだことによる影響であります。

また、当第3四半期連結会計期間末における純資産は176億57百万円と前連結会計年度末比4億59百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が8億93百万円増加した一方、市場買付等により自己株式も3億89百万円増加したことによるものであります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の1株当たり純資産は1,159円85銭(前連結会計年度末比56円64銭の増加)、自己資本比率は62.9%(前連結会計年度末比2.3パーセントポイントの低下)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界的景気後退の中にあって、当社グループを取り巻く市場環境は厳しさを増すとともに変動が激しく、現時点では当第4四半期の業況を見極めることが困難でありますので、平成20年12月17日に発表いたしました通期の業績予想については、変更を行っておりません。今後の情報収集等により、見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

・棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理の変更)

・四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間において、リース資産が有形固定資産の「その他」に453,426千円計上されておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

・有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び連結子会社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度税制改正を契機として、有形固定資産の経済的耐用年数を見直した結果、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を変更しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ383,791千円減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,421,725	2,539,888
受取手形及び売掛金	8,796,402	7,585,361
仕掛品	424,227	584,163
原材料及び貯蔵品	1,030,574	899,877
その他	385,324	423,156
貸倒引当金	△16,185	△8,490
流動資産合計	14,042,070	12,023,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,664,389	4,994,239
機械装置及び運搬具（純額）	3,665,327	4,215,956
土地	2,966,437	2,978,283
その他（純額）	984,431	324,555
有形固定資産合計	12,280,585	12,513,034
無形固定資産		
のれん	73,669	147,339
その他	378,935	402,948
無形固定資産合計	452,605	550,288
投資その他の資産	1,278,692	1,296,481
固定資産合計	14,011,883	14,359,804
資産合計	28,053,953	26,383,761

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,351,650	2,701,496
短期借入金	1,700,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	426,400	426,400
未払法人税等	29,537	557,350
賞与引当金	297,418	569,820
その他	2,617,158	2,065,556
流動負債合計	8,422,164	7,120,623
固定負債		
長期借入金	588,800	908,600
退職給付引当金	773,885	918,160
その他	611,188	237,764
固定負債合計	1,973,873	2,064,524
負債合計	10,396,038	9,185,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,658,823	2,658,823
資本剰余金	2,293,504	2,293,504
利益剰余金	13,473,702	12,580,536
自己株式	△754,890	△364,967
株主資本合計	17,671,139	17,167,896
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,223	30,716
評価・換算差額等合計	△13,223	30,716
純資産合計	17,657,915	17,198,612
負債純資産合計	28,053,953	26,383,761

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	17,925,126
売上原価	12,339,055
売上総利益	5,586,071
販売費及び一般管理費	
荷造運搬費	202,289
貸倒引当金繰入額	7,695
役員報酬	177,393
人件費	1,098,964
賞与引当金繰入額	94,384
退職給付引当金繰入額	28,151
旅費交通費及び通信費	197,011
減価償却費	37,977
のれん償却額	73,669
研究開発費	476,780
その他	457,166
販売費及び一般管理費合計	2,851,483
営業利益	2,734,587
営業外収益	
受取利息及び配当金	5,218
受取ロイヤリティー	24,516
受取技術料	10,202
スクラップ売却益	26,791
その他	20,804
営業外収益合計	87,533
営業外費用	
支払利息	16,481
支払手数料	7,096
その他	6,023
営業外費用合計	29,601
経常利益	2,792,519
特別損失	
固定資産除売却損	72,832
ゴルフ会員権評価損	4,305
子会社工場建設中止損	29,049
特別損失合計	106,187
税金等調整前四半期純利益	2,686,331
法人税、住民税及び事業税	935,004
法人税等調整額	158,661
法人税等合計	1,093,665
四半期純利益	1,592,665

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,686,331
減価償却費	1,726,403
のれん償却額	73,669
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△272,401
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△144,275
受取利息及び受取配当金	△5,218
支払利息	16,481
固定資産除売却損益 (△は益)	72,832
ゴルフ会員権評価損	4,305
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,211,041
たな卸資産の増減額 (△は増加)	29,238
仕入債務の増減額 (△は減少)	650,153
未払費用の増減額 (△は減少)	109,852
その他	123,703
小計	3,860,035
利息及び配当金の受取額	5,166
利息の支払額	△18,197
法人税等の支払額	△1,457,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,389,422
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△850,926
有形固定資産の売却による収入	1,000
無形固定資産の取得による支出	△14,112
投資有価証券の取得による支出	△109,029
その他	18,908
投資活動によるキャッシュ・フロー	△954,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	900,000
長期借入金の返済による支出	△319,800
配当金の支払額	△695,195
自己株式の取得による支出	△389,922
その他	△48,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△553,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	881,837
現金及び現金同等物の期首残高	2,539,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,421,725

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

参考資料

(要約)前四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	18,495,787	100.0
II 売上原価	11,918,085	64.4
売上総利益	6,577,701	35.6
III 販売費及び一般管理費	2,770,119	15.0
営業利益	3,807,582	20.6
IV 営業外収益	65,090	0.3
V 営業外費用	26,938	0.1
経常利益	3,845,733	20.8
VI 特別利益	105,167	0.5
VII 特別損失	41,335	0.2
税金等調整前四半期純利益	3,909,566	21.1
税金費用	1,609,119	8.7
四半期純利益	2,300,446	12.4

(要約)前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,909,566
減価償却費	1,273,697
のれん償却額	73,669
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 266,063
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 135,257
役員退職引当金の増減額(△は減少)	△ 302,811
受取利息及び配当金	△ 4,552
支払利息	16,248
固定資産除却損	41,335
売上債権の増減額(△は増加)	△ 258,636
たな卸資産の増減額(△は増加)	64,414
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 356,483
未払費用の増減額(△は減少)	△ 76,374
長期未払金の増減額(△は減少)	232,677
その他	135,153
小計	4,346,582
利息及び配当金の受取額	4,546
利息の支払額	△ 12,013
法人税等の支払額	△ 3,058,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,280,220
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 3,329,802
無形固定資産の取得による支出	△ 13,321
投資有価証券の取得による支出	△ 73,497
その他	△ 24,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,440,687
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,050,000
長期借入れによる収入	1,250,000
長期借入金の返済による支出	△ 43,800
親会社による配当金の支払額	△ 703,641
自己株式の取得による支出	△ 97
その他	△ 5,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,547,312
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	109
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 613,045
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,182,034
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,568,989

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

部 門	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	比較増減	
	生産高(千円)	生産高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	15,305,456	14,980,595	△ 324,860	△ 2.1
半導体・液晶製造用部品 への加工	5,350,149	4,956,652	△ 393,496	△ 7.4
産業機械用部品への加工	3,236,261	3,656,385	420,123	+ 13.0
鉄鋼用設備部品への加工	2,669,683	2,570,604	△ 99,079	△ 3.7
その他	4,049,362	3,796,954	△ 252,408	△ 6.2
T D処理加工	791,394	657,328	△ 134,065	△ 16.9
Z A Cコーティング加工	593,503	493,018	△ 100,485	△ 16.9
P T A処理加工	437,533	386,231	△ 51,301	△ 11.7
P V D処理加工	1,367,899	1,407,952	40,052	+ 2.9
合 計	18,495,787	17,925,126	△ 570,660	△ 3.1

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

(2) 受注状況

(受注高)

部 門	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	比較増減	
	受注高(千円)	受注高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	15,107,059	15,010,810	△ 96,248	△ 0.6
半導体・液晶製造用部品 への加工	5,220,809	4,859,302	△ 361,506	△ 6.9
産業機械用部品への加工	3,245,935	3,649,091	403,155	+ 12.4
鉄鋼用設備部品への加工	2,701,862	2,718,177	16,314	+ 0.6
その他	3,938,451	3,784,239	△ 154,212	△ 3.9
T D処理加工	795,643	651,216	△ 144,427	△ 18.2
Z A Cコーティング加工	587,013	504,799	△ 82,213	△ 14.0
P T A処理加工	408,965	449,205	40,240	+ 9.8
P V D処理加工	1,359,705	1,399,731	40,025	+ 2.9
合 計	18,258,387	18,015,763	△ 242,623	△ 1.3

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

(受注残高)

部 門	前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	比較増減	
	受注残高(千円)	受注残高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	1,602,117	1,890,133	288,016	+ 18.0
半導体・液晶製造用部品 への加工	551,048	479,490	△ 71,558	△ 13.0
産業機械用部品への加工	216,535	370,447	153,912	+ 71.1
鉄鋼用設備部品への加工	451,014	552,757	101,742	+ 22.6
その他	383,518	487,438	103,919	+ 27.1
T D処理加工	36,345	25,261	△ 11,084	△ 30.5
Z A Cコーティング加工	72,580	71,226	△ 1,353	△ 1.9
P T A処理加工	107,620	139,843	32,223	+ 29.9
P V D処理加工	14,267	9,244	△ 5,023	△ 35.2
合 計	1,832,932	2,135,710	302,777	+ 16.5

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

(3) 販売実績

部 門	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	比較増減	
	販売高(千円)	販売高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	15,305,456	14,980,595	△ 324,860	△ 2.1
半導体・液晶製造用部品 への加工	5,350,149	4,956,652	△ 393,496	△ 7.4
産業機械用部品への加工	3,236,261	3,656,385	420,123	+ 13.0
鉄鋼用設備部品への加工	2,669,683	2,570,604	△ 99,079	△ 3.7
その他	4,049,362	3,796,954	△ 252,408	△ 6.2
T D処理加工	791,394	657,328	△ 134,065	△ 16.9
Z A Cコーティング加工	593,503	493,018	△ 100,485	△ 16.9
P T A処理加工	437,533	386,231	△ 51,301	△ 11.7
P V D処理加工	1,367,899	1,407,952	40,052	+ 2.9
合 計	18,495,787	17,925,126	△ 570,660	△ 3.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。